

館報 城山

発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集人 小池英樹
発行人
印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (2・8・1)
第1地区…2,841
第2地区…5,481
合計…8,322世帯

令和2年度 城山公民館成人学校開講 待ちに待ったこの日!

令和2年度城山公民館成人学校は、コロナウィルス感染予防の見地から、開講を通常の4月から7月以降に延期させていただきました。

この間、県内外の状況を注視しつつ7月以降の開講に向け、特に受講生の皆様の感染予防対策を第一に考えて準備を進めてきました。

そして、7月2日(木)、令和2年度城山公民館成人学校『のびのび骨盤調整ヨガ』講座を皮切りに、順次各講座が開講しました。

本年度は昨年同様28講座の開講を予定しておりましたが、そのうちいくつかは、事情により開講を再度延期することになりました。(下表参照)

さて、以前、開校式でも紹介させていただきましたが、成人学校で学ぶことには3つの

喜びがあるとお聞きしたことがあります。それは、学べる喜び、学べる時間のある喜び、多くの人と知り合える喜びの3つです。また、学ぶことにより、自己表現力が豊かになることが期待できます。

同好の仲間と心を通わせながら、生き生きとした日々を感じていただけたら素敵なことです。コロナ禍で大きく短縮された学びの時間ではありますが、大切な時間をお過ごしいただけるよう願っています。

城山公民館成人学校は、まだ、定員に余裕のある講座がありますので、ぜひ、一緒に学び喜びを味わっていただけたらと思います。遠慮なく、お問い合わせやご見学をお願いいたします。

城山公民館 成人学校担当
☎二三三三一一一



講座ごとに開講式を実施

「英語の基礎」を受講して

石坂 裕信

コロナの関係で今年の成人学校の開講が大幅に遅れましたが、事務局には、開講延期連絡など適切に対処してもらい予定が立ってよかったです。

この度、「英語の基礎」講座の開講を迎え、久しぶりに学びの友に会えて幸せな気持ちになりました。そして、また一緒に英語の勉強ができる喜びをかみしめています。

私は、市の広報でこの講座のことを知りました。開講前の3月に行われた体験会に出

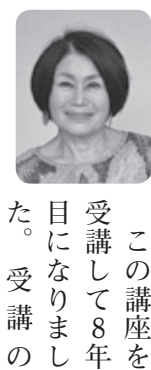
席した後、公民館成人学校担当者から正式に受講するかどうかが電話で聞かれ、受講の決心がつかしました。

実際に受講してみると、英語で会話をする機会が多い講座で、私にはレベルが高いと感じましたが、「だいじょうぶ」という学友のアドバイスもあり、やることにしました。やってみると、実用会話力が必要なステップに進めてよかったです。

本年度の目標は、具体的ではありませんが、自分の英語のレベルアップをさらに図っていきたくと考えています。

「悠遊BONSAI盆栽」を受講して

清水 敬子



この講座を受講して8年目になりました。受講の

きっかけは、父が遺した盆栽がいくつかあり、枯らしてしまふと悲しいことと、ただ眺めるだけでなく、少しでも世話を形よくしたいと思っただけでした。

コロナの影響で9月まで開講延期になったこの講座が、7月開講に早まりありがたい



講師委嘱

開講日には久しぶりに仲間に来てホッとするとともにうれしかったです。開講を迎えた日、新しい仲間が加わり、先生から盆栽道の話をお聴きし、改めて木に向き合いたいと、楽しみとともに心引き締まる思いがしました。

今年、先生の言葉が前よりわかるようになってきました。先生の言葉の意味と理由がストンと胸に落ちるようになり、自分が成長した分、それが木に表せるといいます。

事務局よりお知らせ

《次の講座は今後も開講を延期いたします》

○書道「写経入門」

(火曜 午前)

○書道(火曜 夜)

史跡巡りウォーキング①
「七福神巡り」に参加して

山口 茂文

城山公民館と第一地区住自協の共催行事「善光寺七福神巡り」に、6月23日参加。

市ガイド協会ベテランの案内で、参加者は2組に分かれ、町中散策を兼ねて七福神を巡りました。日頃、何気なく覗いたり通り過ぎる場所の由来や歴史を知る機会になり、改めて地域に多くの宝物が潜んでいることに気付かされたひと時でした。

七福神の一つ、大黒天は大国主神社として中央郵便局の隣に

「麦わらで作る」
「蛭籠」感想

高池 良子

夏を迎えると城山公民館の玄関に飾られる蛭籠の美しい造形に心がときめいていた。

この夏、思い切った講座に申し込む。6月27日、会場のテーブルには切り揃えた麦わらが用意されていた。参加者全員マスクを着用、互いの距離を保ちつつ、まず蛭についてお話を伺う。

続いて長野ホテルの会の皆さんから丁寧な助言をいただきながらゆつくり麦わらを継ぎ足し編み込んでいく。気が付けば隙間



蛭籠を作った小学生

だらけで、蛭を入れたらすぐ逃げてしまいそう。でもどんどん編み込み、最後の三つ編みに取りかかる。終わってみると、不格好ながら味わいのある蛭籠に仕上がっていた。久しぶりに皆でわいわい言いながら、麦わらの優しい手触りに感動した一日だった。



西宮神社 恵比寿さん

建ち、ユニークな佇まいが印象的でした。また福祿寿がある西後町秋葉神社隣の十念寺は、頼朝公との所縁から、紫雲山頼朝院が寺名に添えられていると聞き少し感動。
定年後、長年離れていた長野に帰郷した私にとり、七福神巡りは地域を再発見する好機となりました。ありがとうございました。

市民講座への参加
ありがとうございます!

あひるくらぶ
「親子でカンフー」感想

山浦 一智(子)

カンフーをやりたいと思った理由は、「カンフーパンダ」の映画で、カンフーにあこがれたからです。

しかし、実際にやってみると、体がかたいので足を上げたりして大変でした。それでも、やっているうちに体がほぐれてきて、動きやすくなりました。

「やってみよう」
「笑いヨガ」感想

高山 啓

講座のチラシを見た妻に、「これ、行ってみたい! あなたもどう?」と誘われました。前から気になっていた「笑いヨガ」の字が目

7月7日、分館和室の廊下にはパイプ椅子が庭に向かって並べられていました。

外は小雨でしたが、講師の月岡先生は傘もなく、マスク姿で登場です。「ホッホッホ。ハ、ハ、ハ、ハ、ハ、ハ。正面、右に左に手をたたき」と呼吸法から始まりました。お腹に手を当て複式呼吸です。胸を広



月岡照美先生の熱い指導

カンフーの術などをわかりやすく教えていただき、理解しやすく、だんだんとうまくできるようになりました。
最後は「カンフー体操1」ができるようになり、カンフーパンダになったようでした。
山浦 智絵(母)
親子で参加とのこと、少し不安でしたが、久しぶりに汗をかき、固まった体をほぐすことができました。家に帰ってから子どもと一緒にカンフー体操を楽しんでいます。
ぎげ横隔膜を下げ、鼻から息を吸い、口をすぼめて長く吐きます。
雨の中、マスク着用もお話も大変だったと思いますが、時々外して口の動きを見せてくださった先生の熱意とチャイミングなお顔が印象的でした。
1回2時間きりの講座では、「スーッ」と通り抜け「ああ、楽しかった」で終わってしまいました。最後のアンケートに、「シリーズで開講してほしい」と記入しました。

50歳からのからだ整え2品献立	藤井 恵
ひこばえ 上	重松 清
ひこばえ 下	重松 清
十字架のカルテ	知念 実希人
クスノキの番人	東野 圭吾
怖い患者	久坂部 羊
おかいもの	前田 まゆみ
1時間で10品超時短つくりおき	大西 綾美
<銀の鯉亭>の御挨拶	小路 幸也
晴れの日散歩	角田 光代
逆ソクラテス	伊坂 幸太郎
人生論あなたは酢ダコが好きか嫌いか	佐藤 愛子・小島 慶子
とのさまぶたまん	長野 ヒデ子
野菜が長持ち&使い切るコツ、教えます!	島本 美由紀

新刊図書のご案内

小学生親子対象講座 城山公民館 企画
あひるくらぶ
親子で陶芸教室
作陶 9月12日(土)
釉薬 10月 3日(土)
(両日参加が条件)
場 所 城山公民館 本館
時 間 10:00~12:00
対 象 小学生と保護者
参加費 親子で500円
定 員 7組 要予約

城山公民館企画 市民講座
城山公民館
夕力の渡り
観察会
9月18日(金) 9:30~
■会場 飯綱高原 スパイラル
■集合 スパイラル駐車場
■講師 藤田伸二さん
(日本野鳥の会 長野支部長)
■定員 40人 ■参加費無料
■終了時間 正午
※ 雨天時別プログラム

「」案内
今後の市民講座

地域とともに歩む城山公民館

第一地区住民自治協議会会長に聞く

第一地区会長 小池 公雄さん



城山公民館は、地域に根差し地域と歩む公民館を目指して事業推進を行っています。

そこで、今回は、第一地区住民自治協議会の小池会長に地区と公民館の関わり等についてお話を伺い、今後の指標とさせていただきます。

◇ 地区の課題は何でしょうか。小池会長：

地区の課題は、他地区同様に少子高齢化です。昭和末期と比べ生産年齢が6割近く減少しました。就職口は社会全体の問題ですが、地域として大事なのは、異常気候変動による豪雨・地震などの災害、夏の高湿などがここ数年特に顕著になっているため、地域防災・減災の観点で安心な町づくりをすることです。避難場所は様々な所が考えられます。今までは学校が中心でしたが、今後は、市の施設や民間の強固な施設も対象にする必要があります。城山公民館は防災の講座を企画していたありがたいです。

今後公民館と第一地区の接点と密度を高めてほしいです。

◇ 公民館の課題をどうとらえたらよいでしょうか？

小池会長：

地域公民館の必要性が低下してきていると感じます。老人会を組織している地区が少なく、全体の約3割です。少子高齢化なおかしいと思います。そのうち、老人会に入会しているのは約5割で、活動している人は約2割です。学び続けることが人間らしきにつながるのに、現代の高齢者の学びの質はどうでしょうか。気になるどころです。これは成人式の問題とも直結していて、何かを人任せにしているように思います。城山公民館の講座で、子どもを持つ母親同士の悩みを共有し合う場があるのはいいですね。年代層ごとに、そのニーズに合わせていくのが大切と考えますので、今後ともよろしく願います。

◇ 公民館との連携、公民館への要望をお話してください。

小池会長：

新型コロナで地域の絆が分断されています。公民館の企画が中止になると人との交わりが希薄になり結びつきが弱まっています。学びとは自分自身を知ることが大事で、各自、自分の課題をもって公民館に通っていたのが、今は学びの道そのものが閉ざされてしまっていて残念です。

さて、地域にはそれぞれ財産があります。第一地区は古い歴史、誇れる文化、恵まれた自然、市の施設などがありますが、これらと連携して町づくりをすることが必須です。昨年、信州大学の先生方10人に、加茂小の授業に入ってもらいました。西部中にも来てもらっていて、成果が上がっています。

今後は、公民館・図書館とも連携が必要です。持続可能な町づくりを推進する必要から、公民館にも教育文化部に出席してもらい、具体的な連携ができるよう願っています。

最後に、城山公民館は、今まで長野市の生涯学習の拠点として地域と連携してきましたが、今後は全市民的な立場で社会教育の情報発信し、学びの場を提供していく使命があります。期待しています。

― 抜粋 ―

(聞き手館長 小池)

シリーズ我が町 上松 区長 小林 哲夫



上松区は地附山の東側に広がる緩やかな斜面に位置します。地区中央には長野高校があり、周りに約1500世帯の区民が11の部に分かれて住んでいます。平成7年4月、上松五差路善光寺側に「上松公会堂」が区民の大切な財産として建築され、区民に利用されて機能を果たしています。また、上松五差路から北に延びる県道長野信濃線沿いには、上松商興会、東に延びる旧SBC通り沿いには美松商店会が町に生活必需品と活気を与えてくれています。

近年、全国に毎年のように大災害が起きていますが、上松区には幸い大きな災害もなく安心して暮らしています。

しかし、記憶に残る「地附山地滑り災害」が今から35年前の昭和60年7月26日に起きた。当時地区の青年団(有志会)が上松自警団を結成して地区内を回り、区民の心の支えと励みになり、「自分たちの町は自分たちで守る」という上松区の事業理念になり

ました。

上松区は、行政区の中でも大きい方であり、他区の模範となるように、すべての事業・行事に力を入れています。公民館主催の盆踊り、敬老会・区民大運動会・文化祭は、大勢の方の参加で賑わっています。

また、上松5区で行う秋まつりは厳粛かつ盛大に行われ、9月22日・23日駒形嶽駒弓神社里宮(上松2丁目)で天下泰平、五穀豊穡を願って獅子舞・神輿・煙火の奉納を行い「ふるさと」を人々が堪能しています。しかし、今年はコロナウイルスの影響ですべての行事が自粛か縮小になっています。一刻も早く終息して、普通に行事が行えるようにと願っています。



上松公会堂



今、大きくその姿を変えようとしている城山公園。御慶事記念公園や御大典記念公園などの造成により、城山は市民から親しみをこめて「城山公園」と呼ばれるようになりました。そして、その成り立ちには時代の要請や多くの人々の願いが大きく関わってきました。

さて、城山公園は市民が集い憩う公園であるとともに、一府十県聯合共進会を代表とする大型の催し物会場としてもその名を県内外に知られるようになりました。

昭和 24 年（1949）4 月 1 日から 61 日間、城山公園一帯で「長野平和博覧会」が開催されました。

終戦直後の混乱期から 4 年、長野市内はまだ社会も人心も十分に安定したとは言えない時期でした。しかし、平和日本と文化国家建設に資するため、長野県産業と文化を広く全国に紹介しようという機運が生まれ、博覧会開催へのエネルギーとなりま

した。長野市は、平和博覧会に 1 億円の予算を計上し、県や長野商工会議所とも連携して積極的に事業を推進したのです。



4 月 1 日 10 時 30 分から始まった開会式には、長野軍政部代表や商工省・農林省の政務次官などの来賓をはじめ約 1000 人が集まり、当時の松橋市長が博覧会の開会を宣言しました。

長野平和博覧会

会場は 3 つに分かれ、第 1 会場は、国産館・長野県特産館・機械館・科学発明館・児童文化館が造られ、続いてテレビジョン館・野外演芸場・

大会場が増設されました。第 2 会場には、観光館・保健衛生館・美術館・農業館が造られ、第 3 会場には、宗教館が設けられました。また、蚕糸繊維館も建設され、開幕寸前に長野市公民館を改装してアメリカ文化館が造られ、模型機関車を走らせる子どもの国も誕生しました。

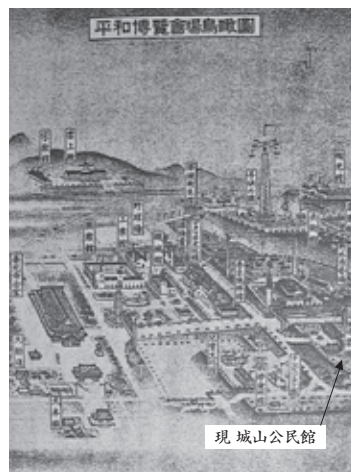
この年（昭和 24 年）は善光寺御開帳の年であり、御開帳と平和博覧会を当

て込んで市内には 3000 軒の商店が開店準備をしました。国鉄は、長野工機部でミニチュア列車をつくり会場でも子ども列車を運行する準備を始めました。

会場各館の特色としては、農業館で農機具展示のほかパターの製造実演販売が行われました。科学発明館では、通信局や測候所が種々の実演を行ったほか、東芝が「心電図」を展示しました。一方、テレビジョン館では、当時開発されたばかりの最先端技術による東芝の白黒テレビジョンで、野外劇場で行われていた演芸を放映し人気を博しました。

こうして、戦後の科学と産業の復興などを願った「平和博覧会」が、全国で最初に長野市で開催されました。

この後、長野市は多方面で大きく発展していくことになりました。（小池）



平和博覧会場鳥瞰図

折々日記 「レジ袋の有料化」

山口 美緒

7 月 1 日からレジ袋有料化がはじまりました。我が家でレジ袋はゴミ袋に、掃除にと重宝していたのですが、これを機に遅ればせながらエコバッグへの転換を図ることに。せっかくなのでプラスチック製のバッグやカゴではなく大きめの竹籠を購入。ゴミ箱にかけたリ、生ゴミをまとめていたレジ袋の代わりに新聞紙で袋をつくってストック。小さなことですが、どこか暮らしが整うような感覚が生まれました。

レジ袋の有料化によるプラスチックゴミの削減効果は極めて小さいという声も聞かれます。しかし、暮らしを見直すきっかけになったことは確かです。たとえば、かつてのように近隣の商店で鍋やポウルで豆腐を買い求める文化が見直されるような動きが出るとしたら、すてきなことです。とはいえ、そもそもプラスチックは、文房具、包装、ペットボトルに家電と大活躍。便利なものに感謝しつつ、使い方や捨て方、リサイクルを考え続けることが大事と思うこの頃です。

あちこちスナッフ



瓜割清水（新諏訪）

城山公園から出土した 8 トンの石

編集後記

「3 密」を意識しながらの with コロナの日常。地域の中で生き生きと暮らすためには、どうしたらいいのかを、考えさせられた時期にもなった気がしています。そこで、その手始めに、地域のことをよく知ることが大切だと思っています。改めて、「館報城山」の編集に参加させていただく中で、そこに沢山の情報が詰まっていたことを知らされて、覚醒した感があります。（萩原）